学校番号	209

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽理論演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

簡単な楽譜を用いて、読譜力や音楽に必要になる基本的な知識を学びます。
歌唱の他、ピアノ、ギターなど様々な楽器について、コード、メロディを理解し演奏します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
音楽に関する基礎的な理論について理解、他者と共有し、演奏に繋げる技能を身につける
【思考力、判断力、表現力等】
音楽理論を通じた、演奏表現の向上や、鑑賞時の作品解釈に活用する思考、判断力を身につける
【学びに向かう力、人間性等】
音楽理論を表現や鑑賞に生かそうとする態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音楽に関する基礎的な理論について理解、他者と共有し、演奏に繋げる技能を身につける	音楽理論を通じた、演奏表現の向上や、鑑賞時の作品解釈に活用する思考、判断力を育成する	音楽理論を表現や鑑賞に生かそうとする態度を養う
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	・音楽理論 ・ソルフェージュ ・楽器演奏 (ソロ) (アンサンブル)	・楽典 (主に音価や基本的な楽語) ・楽器演奏	a:楽譜を正確に読むことができる。 ｂ：楽曲の特徴をとらえ、楽器を使って表現できる。 ｃ：課題に意欲的に取り組み、生徒同士で意見交換ができる。	観察 課題 発表	観察 課題 発表	観察 課題 発表
2		・楽典 (主に音名) ・楽器演奏	a:コードの仕組みを理解することができる。 b:楽器の特性を理解し、特性を生かした表現ができる。 ｃ：課題に意欲的に取り組み、生徒同士で意見交換ができる。			
3		・楽典 (主にコード) ・楽器演奏 (アンサンブル)	a:楽曲の構造を深く理解することができる。 ｂ：既存の楽曲をアレンジし、アンサンブルの可能性を探求することができる。 ｃ：課題に意欲的に取り組み、生徒同士で意見交換ができる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度